

令和6年1月1日

# シルバー みはら

第91号

## 編集・発行

公益社団法人三原市シルバー人材センター  
総務部会

〒723-0016 三原市宮沖五丁目9番32号

TEL 0848-63-2266 FAX 0848-63-5045

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/mihara/index>

## 正会員

男性 526人

女性 262人

合計 788人

(令和5年12月28日現在)

# 迎春

皆様のご健康とご多幸を

心からお祈りいたします

謎の蝶「アサギマダラ」

写真提供: 圓山恒博 会員

本年もよろしく  
お願いいたします

令和六年 元旦

理事長 首尾木春樹

副理事長 渡辺 清治

常務理事 八幡 秀男

理事 植村 正宏

理事 大塚 利治

理事 岡田 利文

理事 木村 幸子

理事 後藤 正文

理事 新聞 文子

理事 末廣 保之

理事 中島 一隆

理事 福田 弘

監事 大田 嘉宏

監事 道町 祐造

事務局 職員一同

(五十音順)



# 新年あいさつ



理事長 長 春 樹  
首尾 木 春 樹

新年明けましておめでとございます。

会員の皆様には、清々しい初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から当シルバー人材センターの事業推進に多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、高齢化の進展と社会保障雇用制度の見直しが行われ会員数はコロナ以降下げ止まりなく、全国で七十万人以上が続いております。

そのような中、平均年齢は七十四・四歳(令和四年)となっております。「老いと向き合う就業」とし、八十歳を超えても活躍できる就業環境を整備していきます。会員の増強に取り組む契約金額、会員数を一日も早くコロナ前に回復させる年を目指し、

センターの進むべき道を役職員が一丸となり歩んでいきます。

また、安全就業を確保するようにしていきます。感染症予防対策の徹底、運転前健康チェック、会員の健康状況への配慮、夏季の熱中症対策、就業開始前の点呼、ヘルメットの着用、安全器具の設置徹底などを行うようにしていきます。

新たな契約方法については、先般、厚生労働省からフリーランス新法施行時期を令和六年秋頃とした移行方針が正式に示されました。インボイス制度への対応やフリーランス新法遵守の必要性を踏まえると、シルバー事業の運営においては、現状考え得る最も支障が少ない方策であります。取り巻く環境が厳しい中であり、業務のデジタル化も大きな課題となっております。積極的に取り組んでいきます。

会員の皆様におかれましては、引き続き新型コロナウイルスに感染しないよう十分気を付けていただき、本年も「自主自立、共働共助」の基本理念のもと地域から信頼されるシルバー人材センターを目指して業務に

取り組んでいただき、シルバー事業を通じて社会活動へ参加することにより、生きがいを感じていただくことでご自身の健康寿命を伸ばしていただけたら幸いです。

最後になりましたが、皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



三原市長 岡田 吉 弘

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

公益社団法人三原市シルバー人材センターの会員の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から市政運営に格別のご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、三原市シルバー人材センターにおかれましては、シニア世代の皆さまに対し、様々な就業機会の提供を通じて、健康で生きがいのある地域の活性化にご尽力をしております。

とに心から敬意を表します。

また、会員の皆さまは、これまでの人生で培われてこられた経験や知識を生かし、市民の暮らしに不可欠なサービスを提供され、地域社会を支えていただいていることに深く感謝申し上げます。

三原市においても少子高齢化が進み、人口は年々減少を続け、現在では九万人を下回る状況です。これに伴い、労働力人口も減少しており、地域社会や経済活動を維持し発展させていくためには、シニア世代の皆さまが積極的に社会活動に参加され、地域とかかわりを持ち続けていただくとともに、シルバー人材センターによる就業機会の創出や就業促進などの役割が、今後より一層重要なものとなってくるものと考えております。

結びに、本年が三原市シルバー人材センター並びに会員の皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





三原市議会議長  
岡本純祥

あけましておめでとございます。三原市シルバー人材センター会員の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から議会活動に対し、温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されたことに伴い、社会経済情勢はコロナ禍による落ち込みから平時を取り戻しつつあります。ウィズコロナからポストコロナへの転換や高インフレ、金利上昇基調への経済の潮目の変化など転換期の今、本年は、三原市の新たな活力の創出に取り組む年と位置づけ、地域経済の活性化や地域共生社会の実現などに注力したいと考えております。

さて、日本の総人口は依然減少傾向にあり、今後も少子高齢化に二層の拍車がかかると予測されます。あらゆる分野での担い手不足が課題となつてきております。

同時に、統計によると高齢者の就業率は、今や二十五%を超えており、中でも六十五から六十九歳では五十%を超えるなど、シニア層がその豊富な経験と知識を生かして活躍する時代へと、社会は着実に変容しております。

そうした中、高齢者がその豊かな知識、経験、技能を十分に発揮するための拠点となるのが、三原市シルバー人材センターであり、その役割は年々重要になってきております。貴センターにおかれましては、会員の皆様へのニーズに応えられる就業機会の開拓に積極的に取り組んでいただくとともに、引き続き会員拡大にむけた活動にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、会員の皆様が地域社会の担い手として活躍できる社会を築けるよう支援して参る所存です。

結びに、三原市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶と致します。



安全就業対策委員会  
委員長 中道 彦

年初にあたり、会員の皆様またご家族の皆様にとつて健康で無事故で過ごせますよう祈念申し上げます。また、平素から皆様方には安全就業に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年末よりコロナに加えてインフルエンザが流行しています。私たち高齢者は加齢による免疫力が低下しています。健康が第一です。予防対策をしっかりと取つて健康に気を付けてください。

さて、昨年の傷害、物損、熱中症等の事故発生状況を見ますと、今までの事故の繰り返しがあると思えます。このことは更なる工夫が必要という事です。

ヒヤリハットを少なくする取り組みとしてKYTを取り入れてみてくださいます。KYTは「危険予知トレーニング」の頭文字をとった略語で、作業に潜むヒヤリハットなど重大な事故につながる危険を察知する能力を高めるためのトレーニングを言います。チーム

で行うのがベストですが、現実的に現場で行うとなれば時間などの制約があります。

私たちはほとんどが毎年同じ現場にて作業を行っています。

現場の状況は皆さん察知されていると思います。寝る前に明日の現場をイメージし、個々に危険予知トレーニングをすることにより自己防衛につながると思います。

KYTの手順として

①事実をつかむ(現状把握)

どんな危険が潜んでいるか？

②原因を探る(本質追及)

これが危険のサイン！

③対策を練る(対策立案)

私はこうする

④行動計画を立てる(目標設定)

実行する

交通事故や労働災害は規則や罰則をいくら定めても、事故、災害はなくなりません。それを守る安全意識の高揚が災害をなくす決め手ではないかと思っております。

安全は全てに優先されます。KYTにより危険を察知する能力を高め、規則に沿った安全対策をしっかり取つて、今年こそは完全無災害を達成しましょう。

自分の身は自分で守るご安全に！

# 安全パトロールの実施

七月の安全就業強化月間中に、安全就業対策委員による安全巡回パトロールを実施しました。



7月20日(木) 本郷(草刈)



7月19日(水) 西宮(草刈)



7月14日(金) 円一町(剪定)



7月27日(木) 大和(剪定)



7月25日(火) 沼田東(草刈)



7月21日(金) 久井(草刈)

- 【チェック項目】 ・こまめな休憩と水分補給 ・飛散防止ネット設置 ・ヘルメット着用など  
 【指摘事項】 ・2枚刃の使用あり ・ヘルメット未着用

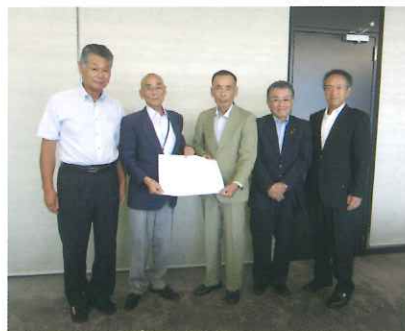
## 岡田市長・岡本議長へ要望

八月二十二日(火)に理事長以下三名で三原市役所を訪ね、岡田市長、岡本市議会議長に、シルバー人材センターの支援と本部及び久井支所の移転先確保についてお願いしました。

また、シルバー人材センターが果たす役割の意義と重要性並びに厳しい運営状況を説明し、補助金の確保について要望書を手渡しました。



岡田吉弘市長へ要望



岡本純祥市議会議長へ要望

## まち探検で見学

(三原小学校)

十月五日(木)三原小学校の二年生が「まち探検」で三原港に見学に来ました。内港管理の会員に、「係留できる船の大きさ」についての質問があり、会員は優しく丁寧に答え、この仕事は年中無休と説明。子供たちは熱心に聞いていました。

